

スケボーが東京五輪へ発進

2020年東京五輪 1187

第1回日本選手権の平均年齢

男子15歳 女子14歳

第1回スケートボード日本選手権
 23日東京・ムラサキパーク東京男女ストリート予選決勝
 遊びから五輪競技へ、スケートボードが20年東京五輪に向けて動き出した。日本ローラースポーツ連盟は、国際連盟(FIRS)や東京五輪・パラリンピック組織委員会の関係者(代表)を擁護し、池田大亮(16)とムラサキスポーツの選手たちの東京五輪に向けた争いも始まった。



男子優勝の池田(左)と女子優勝の西村は優勝杯を手に笑顔

強化指定選手候補を初選出!! まずは…

経験です

第1回日本選手権成績

| 順位 | 選手名 | 種別 |
|----|-------|----|
| 1 | 西村 莉 | 女子 |
| 2 | 池田 大亮 | 男子 |
| 3 | 伊藤 遥 | 女子 |
| 4 | 山本 悠 | 男子 |
| 5 | 山本 悠 | 男子 |
| 6 | 山本 悠 | 男子 |
| 7 | 山本 悠 | 男子 |
| 8 | 山本 悠 | 男子 |
| 9 | 山本 悠 | 男子 |
| 10 | 山本 悠 | 男子 |



女子ストリートでダイナミックな演技を披露する西村(左)と池田(右) (撮影・浅見桂子)

国際連盟が絶賛女子のレベルが高い

高まるメダルの期待 「ストリート」最終戦に日本として初出場。世界で活躍し始めた15歳は「日本選手権の第1回」という意識はない。普通の大会ですと言いつつ、サッカークラス、ゴルフと行った」と話す。4月からは「私、話すの苦手なんです。でも、最近は取材される機会も増えて、慣れました。ポツと漏らした本音、それだけ注目度は高い。この日、撮られた国際連盟役員から「女子のレベルが高い」と絶賛された日本、エースとして、西村の東京五輪メダル獲得への期待はまだ高まる。

男子に欠場2人

○：国内のトップスケーターが出場した女子に対し、男子は堀米雄斗(18)と瀬尻(20)が欠場した。ともに世界で活躍する東京五輪候補だが「彼らとは話さなかった」と言及された。あくまで強化指定は今年だけ。世界選手権は出られないが、20年の代表選考会で圧倒的な力を見せつけられれば、同委員長は海外での成長を期待していた。

君が代も初めて

開会式は、選手への注意から始まった。「君が代が流れたら、ヘルメットや帽子は取ってください」。他、競技なら常識でも、スケートボードでは違う。国内の大会で君が代を流すのは初めて。国を代表する国際大会もなく歌う機会もない。スケーターが君が代を聴くこと自体が異例だった。

10歳〜21歳61人
 選手が若い。計61人が出場し、平均年齢は男子が15歳、女子は14歳。最年少は10歳。会場こそ普段の大会も行われる室内パークだったが、60人の報道陣やテレビカメラの放列は初体験。「緊張しました。レベルも高いし、ヤバかったです」と男子3位になった静岡・島田二二の根付は驚きの表情で言った。

国際連盟のルールや、世界選手権の大会方式も決まらないうまも東京五輪へ向けて1歩を踏み出した。【秋島弘一】



男子ストリート決勝で難易度の高い演技を披露する池田